

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	慶應義塾大学	整理番号	F - 1
拠点のプログラム名称	低侵襲・新治療開発による個別化癌医療確立		
中核となる専攻等名	医学研究科外科系専攻		
事業推進担当者	(リダー)北島 政樹 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点では、慶應義塾大学の実績と豊富な臨床例を活かして、次世代癌治療体系(個別化・低侵襲・新治療)の確立のために、3領域(1.個別化・低侵襲医療を可能にする診断法開発、2.低侵襲治療法開発、3.新治療法開発)において、近い将来、医療として成立しえる癌の診断・治療のtranslational studyを行う。慶應義塾大学総合医科学研究センターを中心とした研究教育体制の構築を行うが、理工学研究科を含む学内基礎・臨床教室が連携するだけでなく、連携大学院や産学共同戦略研究を行うリサーチパークを介した学外機関との連携も図る。また、基礎と臨床が一体となった腫瘍医学教育システムを構築し、海外研究者と交流機会を増やすことにより国際性豊かな腫瘍専門医・研究者の養成を目指す。最終的に、大学院の教育研究に直結した基礎研究の成果を短期間に医療として実用化できる世界有数の最先端癌医療開発拠点の形成を目指す。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>内視鏡技術など、低侵襲治療法の先駆者が含まれており、その指導力によって、国際的拠点となることが期待される。産官学の連携も充分考慮されており、体制が整っていることから、これまでの実績を基盤とした実用的な成果が期待できる。</p>			